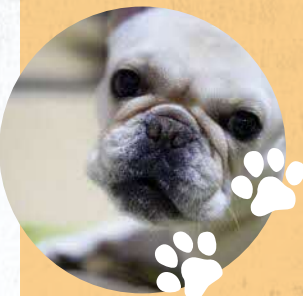


松江市在住歴8年目。似顔絵イラストレーターとして活躍中のシングルマザー。
自宅兼仕事場で県内外からのオフアワーに相應るやましたさん。
テレワークで仕事する先駆けともいえます。



Q 松江移住のきっかけは？

島根県へエタワンのきっかけは東日本大震災。神奈川県で被災し、電気が点かない、飲み水や車の燃料の確保にも苦労する毎日に大きな不安を覚え、生後3ヶ月の愛娘あんじさんを伴って、当時結婚していた夫の実家のある出雲市に移住。ほどなく、松江市内でグラフィックデザイン関連の研究員として就職。その後、離婚のタイミングで松江市内に引っ越してきました。



母 まほさん(北海道出身)
長女 あんじさん(10歳、小学4年生)
二女 ハナちゃん(女の子のフレンチブルドッグ)

Q 松江の印象は？ズバリ

一番には、人がいい！そして、住みやすい。風景も美しいし穏やかで、落ち着いて暮らせます。(駅の近くに住んでいるので、)買い物や生活圏も適度にコンパクトで不便さありません。

Q 人がいい、というのは？

ほどよい距離感を保てるし、つながりを広げることできる地域だなと思います。仕事にしても、知り合いが次へ次へとつなげてくれます。イベント出展への声かけや、イベント等で知り合った人が活動する場合に仲間として呼んでくれたり、企業などにも紹介してくれたり。私は主にホームページで仕事の発信をしているのですが、口コミでも多くのお仕事をいただいています。

Q 松江の好きなところは？

宍道湖の夕陽！私は北海道生まれだから、スケールもダイナミックさも松江の比ではない自然を子どもたちから間近で見たいけれど、宍道湖の夕陽は別格。夏、ビールを片手に窓から見る宍道湖の夕陽が特に(笑)！癒されるし、感性に合うんです！



Q コロナで変わったことや気づいたことはありますか？

もともと私は家で仕事をしていましたし、娘は家が大好きなので、これまでも家で楽しむ工夫をしていました。唯一、週一で通っていたバスケットの練習に行けなくてちょっと運動不足になったくらい(笑)



やましたさんの作品



Q 松江での子育てはどんなですか？いい点や困った点は？

島根に来て初めて勤めたのは公的機関だったので、定時で帰れる、休みが計画的にとりやすいなど融通がきいたほうだと思います。保育所も、先生方も親身だし手厚いと感じていました。

一方で、イベントへの出展は土日が多く、土日に預けられる先を探すのは苦労しました。また、イベント終了後の夕方は、ほかの出展者さんへ申し訳なく思いながらも、あいさつも片付けもそこそこにお迎えにタッシュ。今後、子育てしながら多様な働き方をする人が増える社会になるので、土日保育やお迎え時間については、働く人の要望に合わせて広げてもらえるといいなと感じました。

今、娘は小学校の週一回の通級指導教室を利用しています。子どもの個性や状況に合わせた指導をしてもらえるのがとても良いです。

松江にも、「シッター」を請け負う企業があればいいなと思います。

Q やましたさんのお仕事は松江でなくてもできると思うのですが、松江に居ながら他県のクライアントさんのお仕事もしている、好きなことを仕事にしている素敵なロールモデルでいらっしゃると感じます。

たしかに、場所を選ばない仕事です。私は高校卒業してカバン一つで実家を飛び出しました。何だって私はできる！ってギラギラしてました(笑)。デザインを勉強したのち、自分のやりたいことや色んな職にもチャレンジしながら、これまでに複数の他県・他地域に住んできましたが、松江が良い！これからも住み続けようと思っていますよ。

松江に居ているんなら可能性をつかめると思いますが、それには、まず挑戦してみること、環境を変えてみることで、できることが増えていきます。そして身につけた「自分ができること」を発信していくことが大切だと思います。



取材を終えて

自然体で朗らかな人あたりと、超行動派&実力派のやましたさんにググ〜とひき込まれ、どこでも自分で生きる道を開けるとも勇気をもらいました。【中村】